

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒101-8441
 住 所 東京都千代田区神田錦町1-25
 氏 名 日清製粉㈱取締役社長 山田 貴夫
 代理人 取締役鶴見工場長 高橋 誠一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日清製粉株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区大川町 3-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	09	食料品製造業
主たる事業 の内容	小麦粉製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	14,004	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出量		t-CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

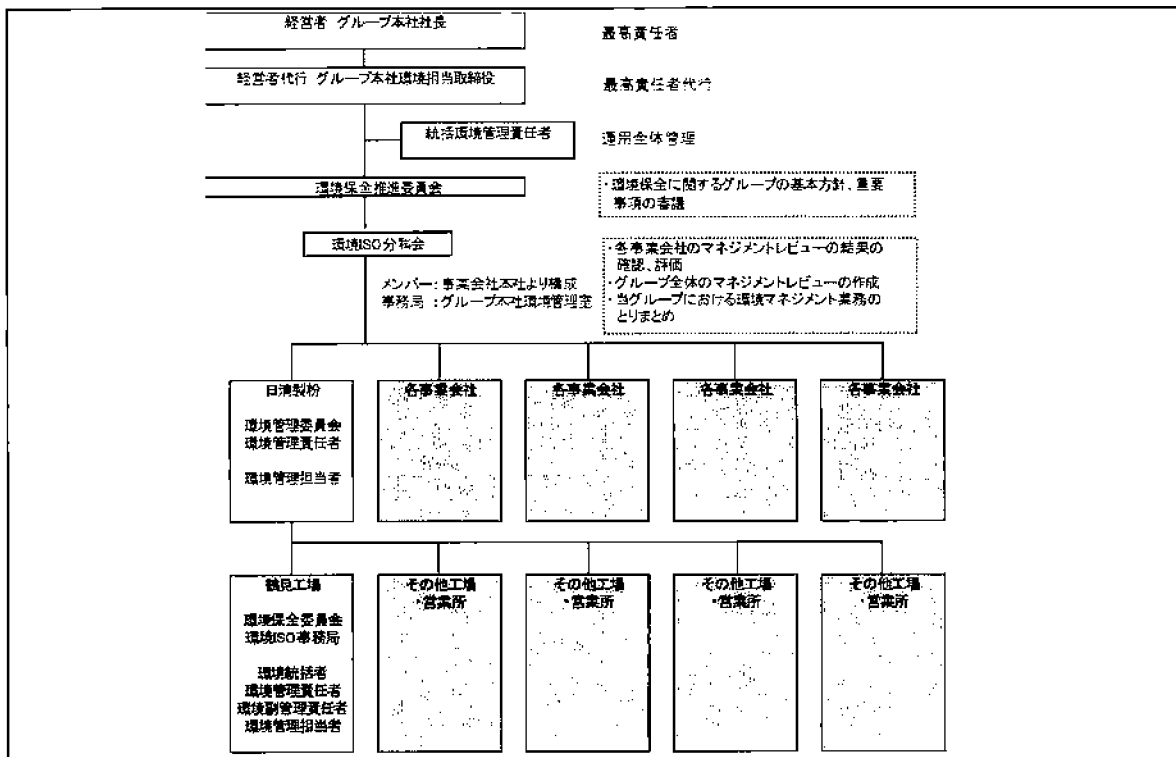
1. 事業者全体基本方針
 日清製粉グループとして下記の環境基本方針により、積極的な地球温暖化対策を進めている。
 地球環境保全は、人類の生存と発展のための社会全体の課題であり、その社会の一員として事業を含む企業にとって、最重要の経営課題です。日清製粉グループは、「信を万事の本と為す」と「時代への適合」を経営の基本理念とし、「健康で豊かな生活づくりに貢献する」を使命として、当社が地球社会の一員であることの認識を持ち、地球規模での環境保全を図りながら自由で活力ある企業活動を目指します。

2. 鶴見工場の基本方針
 (1) 国や地方自治体が定める環境法令・規則・その他要求事項を順守し、環境保全に努める。
 (2) 環境負荷の低減として、事業活動において、省資源、省エネルギー、リサイクルを通じて汚染の防止を図る。
 (3) 環境管理体制の整備として、環境目的・目標を設定し、定期的な見直しをおこないながら、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
 (4) 環境方針の公開を通じて、全員参加の取組みによる一人ひとりの意識・モラルの向上を図り、環境保全活動の推進に努める。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

①日清製粉本社が策定した環境目的・目標に基づき、鶴見工場としての省エネおよび排出量削減の目標設定を行い、年度計画を策定する。
 ②鶴見工場としての目標に基づき、各部署における省エネおよび排出量削減の目標設定を行い、具体的な実行計画を策定する。
 ③毎月開催する「環境・CO2削減リーダー会」にて、工場全体のエネルギー使用量および排出量の実績管理、各部署の実施項目の進捗管理を行い、必要に応じて計画の見直し等を行う。
 ④半期ごとに開催する環境保全委員会にて、省エネおよび排出量削減効果の検証、評価を行う。またその評価により、実施項目の継続可否、修正等の判断を行う。
 ⑤④の評価結果を日清製粉本社に報告する。日清製粉本社は各工場・営業所等の評価結果をもとに、事業会社としての削減対策実施状況の検証・評価を行い、日清製粉グループ本社に報告する。日清製粉グループ本社は各事業会社からの報告をもとにグループとしての評価、実施項目の継続可否および修正等の判断を行い、各事業会社にフィードバックする。
 ⑥日清製粉本社はグループ本社からのフィードバックをもとに、事業会社としての環境目的・目標を策定する。
 以上の基本方針により、PDCAサイクルを実行・管理する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基 準 年 度		2018				年度
目 標 年 度		2021				年度
基 準 排 出 量	(実)	26,737		(実)		
	(調)	26,018	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
日 標 排 出 量	(実)	25,935		(実)		
	(調)	25,237	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削 減 量	(実)	802	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内 訳	対策実施による削減量	(実)	802	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実)	0	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
削 減 率	(実)	3.0	%	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量		挽砕数量			
原 単 位 の 単 位		t-CO ₂ /トン			
基 準 年 度 の 値		0.04259			
目 標 年 度 の 値		0.04131			
削 減 率		3.0 %			

ウ 目標設定に関する説明

排出量原単位を年平均1%削減する事を前提に目標を設定した。生産設備については、エネルギー効率の優れた設備への更新や既存設備の運転効率化、LED照明設備の順次導入等を進め、エネルギー使用の効率化を図る。管理面については、各部署・工程ごとの目標原単位を設定し、小集団による改善活動を推進する。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

日清製粉グループとして、CO₂排出量を2030年度に2013年度比で23%削減することを目標としている。

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	①生産設備のエネルギー管理 ・各生産工程における必要風量を把握し、ファン回転数の適正化および負荷の平準化対策等を実施する ・各生産工程における圧縮空気必要量の見える化を進め、圧縮空気配管経路の適正化やエア漏れ是正の迅速化等を実施する ・冷却設備の運用マニュアル整備および自動制御の適正化を進め、運転の効率化を図る ②照明・空調設備の運用管理 ・老朽化更新や照度見直しに合わせ、LED照明や無電極ランプ、超広角ランプ等の高効率照明を導入する。 ・空調機器の適切な管理・運用、老朽化機器の高効率機器への更新等を実施する。
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

①外部専門家による省エネルギー診断実施 ②太陽光発電設備の導入 ③生産設備のエネルギー管理の推進 (低圧コンデンサ導入・受電盤更新・生産フロー改善・ブロー-高効率運転システムの導入・コンプレッサー台数制御など)

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	構内倉庫屋上に発電パネルを設置済み。敷地内の余剰スペースや投資効果等の総合的判断から、現在のところ追加設置は考えていない。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光	構内倉庫屋上に600KWの発電パネルを設置	2013年度
風力	厚生棟屋上に小型風力発電設備2台を設置(自社消費)	2008年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	△
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入を継続する ・運送委託会社に対するエコドライブの実施の要請 ・社員に対する環境研修会の開催 ・2021年度の産業廃棄物排出量を2018年度比で3%削減する (497t→482t)
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	26,737	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

14,004	K L
--------	-----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
日清製粉(株) 鶴見工場	川崎市川崎区大川町 3-1	26,737 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂